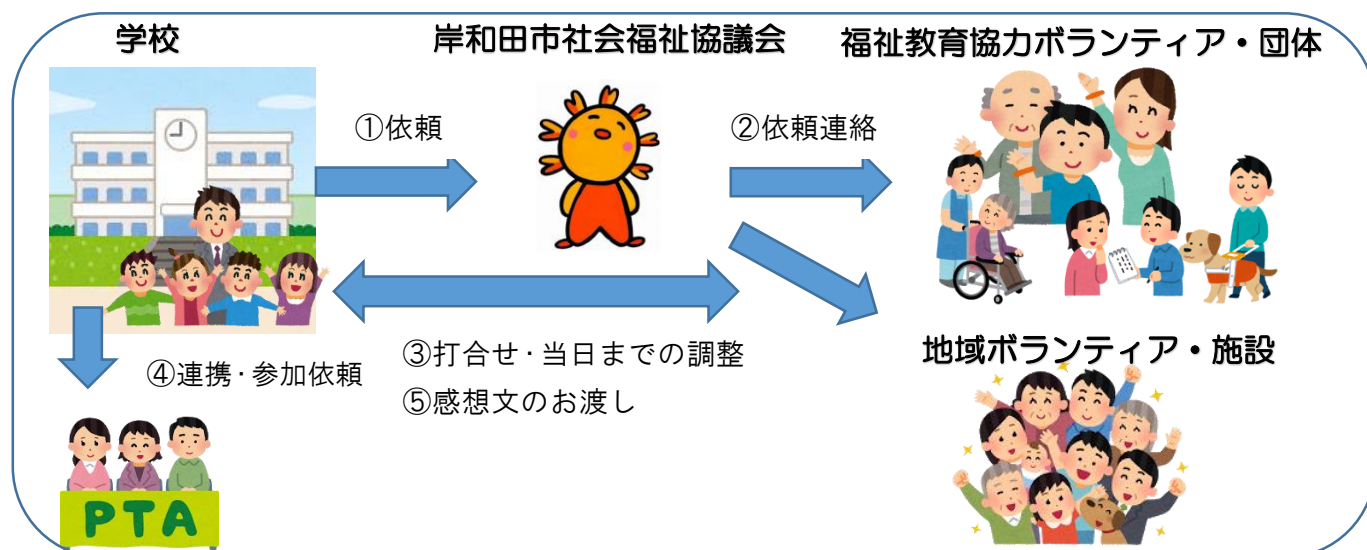


授業の計画から振り返りまでの流れ



(1) 学校にて授業内容の検討

協力者の選定など、地域担当者にご相談をお受けすることができます。
ぜひお気軽にご連絡ください。

(2) 学校から社協へ依頼書の送信(FAX)【実施日より約2ヶ月前】

年間計画に基づき本マニュアルp17の「福祉教育協力団体(者)一覧」を参考に依頼先団体(者)の依頼書に記入し、社協へ送信して下さい。

【提出書類】

- ① **福祉体験学習 協力依頼書** (本マニュアルp18～)
※依頼書は2枚あります。必ず2枚目の留意点をご確認の上☑を入れてください。
- ② **備品借用書** (本マニュアルp14) ※必要な場合のみ
※FAX送信後、社協に確認のため電話でご連絡下さい。
※団体によっては社協を介さず直接学校から連絡を入れて頂く必要があります。
※記載内容に不備等がある場合は、社協よりご連絡を差し上げることがあります。

(3) 学校と協力団体(者)が連絡調整・打ち合わせの実施

学校と協力団体(者)が、授業実施に向けて直接打ち合わせを行います。

(4) 学習実践

学習内容によっては、PTA、保護者、地域住民に広く声かけを行います。

(5) 振り返りと協力団体(者)へのフィードバック

学習終了後は、社協を通じて、協力団体(者)に子どもたちの感想文やメッセージをお届けさせていただきます。

協力者にとって何よりのお礼は、この子どもたちの感想文となり、次の活動への原動力となっています。

学校とゲストティーチャーとのよりよい関係づくりのために、ぜひ感想文・メッセージのフィードバックにご協力ください。